

令和7年度 口丹波中学校ソフトボール新人大会要項

1. 主催 口丹波中学校体育連盟
2. 期 日 令和7年10月18日(土)
[予備日10月19日(日) 予備日の予備10月26日(日)]
3. 会 場 亀岡市立詳徳中学校 グラウンド
(予備日の予備 亀岡市立東輝中学校 グラウンド)
4. 日 程 開会式 9:15～ 第1試合 10:00～
5. 大会役員 顧問 杉本 学(南丹教育局長)
会長 宅間 治郎(園部中学校)
副会長 金田 浩樹(亀岡中学校)
大会委員長 池添 友輔(詳徳中学校)
総務 木村ます美(詳徳中学校)
審判長 伊藤 互行(大成中学校)
審判員 池添 友輔 木村ます美 青木 唯(詳徳中学校)
力身 茜衣 伊藤 互行(大成中学校)
松浦 裕樹 池野 葵(東輝中学校)
亀岡市ソフトボール協会審判員

6. 組み合わせ

第1試合	1 塁側	3 塁側
10:30～	詳徳	大成
第2試合 (オープン試合)	1 塁側	3 塁側
	東輝・詳徳	大成

※ 第1試合終了後、表彰式を行い、東輝中学校を含めた3校で試合を行います。

(試合時間) 第1試合 10:00～11:10
第2試合 11:40～12:40

(審判分担)

	球審	塁審	本部
第1試合	協会	東輝・協会	東輝
第2試合	協会	詳徳・大成・(協会)	詳徳・大成

7. 大会規定

- (1) 2025年ソフトボールオフィシャルルール及び本大会規定による。
※外野ラインを設定(61m)する。
- (2) 服装はユニフォームか体操服とする。(背番号は必ずつけること。)
- (3) 試合は7回70分ゲームを採用し、70分を超えて新しいイニングに入らない。
- (4) 得点差によるコールドゲームは、3回15点、4回10点、5回7点差の時に採用する。
- (5) 7回または70分を超えて同点の場合、タイブレークを採用する。無死二塁を設定して攻撃を継続する。二塁走者はその回の9番目に打順が回ってくる者とし、打者は前回から引き続く正位打者とする。タイブレークは2回を限度とし、それ以降は選手9名で抽選を行う。
- (6) 天候、その他により試合続行不可能な場合は、5回(50分)を過ぎていることをもって正式試合とする。(その回の後攻が終了していること)
- (7) ベンチに入ることの出来る人数は、選手18名、監督1名(教職員)、コーチ1名、スコアラー1名(選手または教職員)、引率教員1名の22名以内とする。
- (8) コーチャーズボックスの一方に、監督、コーチが入ることを可とする。ただし、その際のベンチには、引率責任者、監督、コーチのいずれかが必ずいること。コーチャーズボックスに監督等が入る場合はヘルメット着用が望ましい。
- (9) 各試合の先攻、後攻はトスによって決定する。
- (10) 打者、次打者、走者、ベースコーチはヘルメットを着用しなければならない。捕手はプロテクター、レガース、ヘルメット、スロートガード付きマスクを着用する。投手のグラブは試合球と同色または同系色のものは認めない。
- (11) 打順表は4部(本部、審判、相手チーム、自チーム)とし、試合開始30分前に本部まで提出すること。
- (12) ベンチ入りは30分前とする。

8. その他

- (1) 口丹波中学校体育連盟大会参加申し合わせ事項を遵守すること。
- (2) 雨天による中止の判断は6時30分に専門委員長が行い、その後専門委員・協会に連絡する。
- (3) 熱中症対策については、選手、役員共に、万全の対策をとること。
- (4) 今大会は口丹波中学校体育連盟より示された「落雷事故防止対策について」のガイドラインに基づいて開催する。大会の試合内容や日程を変更して運営する場合がある。
- (5) 審判(役員)は、試合の状況によって選手に途中休憩をとらせる。
- (6) 新人大会のため、未熟なプレー(特に投手)に対しては指導を行い、教育的配慮のもと両チームの監督、審判員と相談し進行する。